

令和4年 **3**月暮らしのお手入れ

目次

- (1)  寝室の湿度、適切に保ちたい カーテン隙間 必ずふさぐ
 - (2)  衣類害虫を防ぐには
 - (3)  不要になった家電・家具 自治体や量販店に確認
-  **住まいのお手入れ** - **給水設備** 水の出が悪くなった

(1) 寝室の湿度、適切に保ちたい

カーテン隙間 必ずふさぐ

* 空気が乾燥すると風邪の原因になるのはもちろん、かゆみなど肌トラブルも招きます。

* 湿度を適切な範囲に保つには、湿度が上下する仕組みを知ることが大切です。

* 空気中の水分量が変わらない場合、湿度は室温に反比例します。

* 重要なのは、カーテンと窓枠の間にできる隙間を面ファスナー（マジックテープ）でふさぐこと。カーテンと壁をマジックテープで密着させます。

・ 湿った暖気は気圧の関係で、窓など冷たい場所を求めて移動します。

* 湿度を保つために加湿器以外で役立つのは、洗濯物の部屋干し。

* 現代の住宅では、加湿した空気を室内にとどめておくのは難しくなります。

・ 2003年7月以降に建てられた家屋は、建築基準法で24時間換気が義務付けられているからです。

(2022年2月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 衣類害虫を防ぐには

* 衣類害虫：衣類を害する（食べる）虫。被害された衣類には特徴的な穴が開きます。

* 身の回りにはいる主な衣類害虫にはイガ、コイガとヒメカツオブシムシ、ヒメマルカツオブシムシの4種類。

・ 成虫が家の中に入り込み、産卵、幼虫の時期に衣類を食べます。

* 気温が15度を超えると虫は活性化します。

* 綿埃は衣類害虫の好む「繊維のかたまり」。

- ・その中に幼虫が潜んでいることが多いです。
 - *注意しなければいけないのは、植物繊維。
 - ・化学繊維でも、汗や食べこぼし汚れの付いた部分は好んで食べられます。
 - *衣替えの際には、可能な限り「洗濯・乾燥」します。
 - *収納した衣類には「ダニ」が発生することも。
- ☆衣類害虫の被害を防ぐ 3 か条

1. 害虫を家に入れない
 - *切り花や洗濯物に付着したガや甲虫に注意。
 - *外出時に着用した衣類は、クローゼットにしまう前にブラシではらう。
2. ホコリはまめに除去
 - *クローゼットやタンスの隅にたまった綿ボコリは害虫の温床に。
3. 保管時には必ず防虫剤を
 - *ウールやシルクなどの動物繊維は衣類害虫の好物。
 - *引き出し用、タンス用など収納場所に合った防虫剤を。

☆防ダニのグッズ活用も

- *防ダニ効果をうたう洗濯用洗剤や柔軟剤などが市販されています。
- *すでにダニが生息している場合、ダニ繁殖の懸念がある衣類は乾燥機かアイロンでしっかり加熱乾燥させてから収納。
- *市販のダニ捕りマット類を収納の最下層暗部に仕込んでおく方法も。

(2022年2月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 不要になった家電・家具 自治体や量販店に確認

- *家電や家具などの粗大ごみの処分は、基本は自治体による回収。
- ・ローコストで確実に処分できます。
- *家電のうち①エアコン②テレビ③冷蔵庫・冷凍庫④洗濯機・衣類乾燥機の4品目は、家電リサイクル法の対象機器。
- ・法律で定められたリサイクル料金を払って処分。
- ・目安は、エアコンは2000円程度、冷蔵庫は小5200円、大5600円程度。
- *自治体指定の業者や新しい家電を買った小売業者などに依頼する場合は、プラス収集運搬料金がかかります。
- *パソコンは資源有効利用促進法により、メーカーなどが回収・リサイクルすることになっています。
- ・2003年10月以降に出荷された家庭用パソコンにはPCリサイクルマーク

が貼られ、販売価格に改修資源化料金が含まれているため、廃棄時はメーカーが無償で引き取ってくれます。

*その他の家電や家具は、住んでいる自治体のホームページで処分方法を確認。

*家具は、新しいものに買い替えるときに古い家具を引き取ってくれる家具店も。

*不用品回収業者の選び方には要注意。

・悪質な業者は「無料回収」「何でも引き取ります」とうたいつつ、出張費・処理費・運搬費などの名目で高い金額を要求してくることがあります。

*「家電リサイクル券・排出者控」の受け取りを忘れずに。

・これがないと、違法投棄される恐れがあります。

*自治体のホームページに掲載されている業者を選ぶのがおすすめ。

(2022年2月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



住まいのお手入れ — 給水設備



水の出が悪くなった

☆対処方法

●水道管に曲がりやゆがみがある場合

*水道管を交換する必要。

*専門工業者に依頼。

●水道管からの水漏れがある場合

*水道管に穴が開いているか、接続部分の締め込みが緩んでいる可能性。

*特殊な工具が必要。

*水道メーターのバルブを閉め、水の流れを止めてから行います。

*さびていたり古い水道管の場合は、破損することがあります。

●原因が発見できない場合

*目に見えない部分に問題が発生していることが考えられます。

*施工業者に連絡をとります。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)

